昭和32年5月27日第三種郵便物認可

三千万円で買収を要請

前町長が現町長に　足寄町役場の敷地

足寄町の当面の問題について小林町長は

一、国鉄の赤字路線廃止で全国百余のかのシヨ光が見出される、声を出したことはマイナスでなく有利である

二、芽登営林署は新線建設期成会はシヨックをうけたが、このアドバルーンは国の責任で地域の振興をはかるためとの確信を得た、短距離はバス、トラックで長距離を迅速にし特に阿寒の観光基地に通ずる白糠線　北十勝線を促進せねばならないとの確信を得た

三、大規模草地の地続きにパイロット事業とする酪農適地があり開発局で現地調査となつた

四、魚菜市場の問題について道は現在の市場を統合して大きくしたい考えだが町民のもりあがる熱意にたいして道としてなにらかのものが考えられている

五、役場庁舎の敷地問題について高橋安蔵氏から委任をうけた海老名弁護士の依頼で鑑定した報告が十八日に示されたその内容は庁舎敷地は11月14日の時点では一、三宅地の評価は一坪二三、一七五円と評価し三、〇九九万円になるという、海老名弁護士は道内有数の鑑定人の評価であるからなつとくゆくし従来の経過ゆきがかりをキレイに流して町で買収してほしいとの要請で山林との交換はやめたいと示された、これでも地主は不満であるというが、水に流して呑んでほしいとのことであつた

と、12月22日の町議会の冒頭でこのように報告しました。

この日の地元者や教育委員会の行政報告にたいする主な質疑はつぎのとおりです。

新沼議員　長距離は鉄道でというが白糠線は北十勝線にも努力してマツチするのでないか、魚菜市場の問題でなにらか考えられるのは荷さばき所か

小林町長　白糠線は北十勝線と結んで長距離の観光線となる国鉄は観光を重視しておりラワンが観光基地となるのでラワンまで早くやりたいといつている下魚菜市場は道として大市場構想だが町から二回申請に及んでおり、なにらかの措置はわからないが早く申請を出しなさいとのことだつたので道の調停助言が示されるものと判断する

鳴海議員　四十三年度の教育行政の心構えをききたい、町立病院の看護婦の態度がモラルをはずれているとの声がきかれるがどうか

清水教育長　基本構想をパンフレットにして批判を仰ぎたいそれを基本にして四十四年からの方針としてレベルを高いものにして主催行事をもちたい、学校統合は本年は芽登地区、明年は沿線地区、ラワンその他の地区毎に部分的に統合したい

鷲岡事務長　看護婦の勤務体制が不親切とのこと、婦長や私どもで改善につとめ住民の声をきくため投書箱を設けるなど検討している

鳴海議員　芽登を先にやるとすれば具体的にどうすすめるのか、看護婦が足りないから仕方ないでなく改善すべきで、手術で家族が心配しているのに状態を知らせてくれない、親切味がない

清水教育長　芽登地区に統合期成会ができ地元の御熱意があつてできる、具体的なことを出さないというのでなく、出して混乱するのをさけたい、深い配慮でやつており御不満の点もあるが側面から御後援を願いたい

（裏面へつづく）

○…足寄名物の「役場庁舎敷地物語」の舞台はクルリと一転して、町有林百一行余との交換はキレイに水に流して三千九十九万円で町に買つてもらいたいとの高橋前町長の代理人の申し立。

○…それでも当の高橋氏はこの値段には不満だそうで、となりの郵便局の用地が一坪三万一千五百円だつたのにたいして二万三千百七十五円の評価では不満はゴモツトもで、それを押えての申し入れだつたのだから二万三千百七十九万円ぐらいは当然もらいたいという気持にもなろうが、そのときの当時はそれが適正な評価であればすべて右ならえの事態であるとして本人が承諾してしかも○…この役場敷地問題については、高橋氏が町長の座にあつた昨年から今春にかけて話し合いで解決したものの。

○…いまになつてその交換は水に流して役場敷地は三千九十九万円で買つてほしいというから、それではなんとかしようということになれば、これまでに町が学校や道路に会には論議をつくして本人も納得ずくで解決とおりに交換を確約書明をかいわんやの問題。

○…本人は一切を弁護士に任せて足寄を去り、千葉県の新宅で悠々自適の生活を楽しんでいるとか…

☆

水に流してほしいというが

とかち新聞
主筆　松山明
発行所　北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話13・51番
定価一部25円　一カ月75円　一カ年前納の場合750円

謹賀新年

一九六八年

足寄町
町長　小林弘道
助役　沼田一
収入役　加藤芳弘
総務課長　富田秋雄
開発計画課長　小泉鶴夫
農業課長　谷忠光
社会課長　宮多一男
税務課長　大塚達夫
建設課長　松平京
林務課長　原守郎
水道課長　丸谷彰
住民相談室長　本太
芽登支所長　村田光雄
ラワン出張所長　森金一

足寄町議会
議長　大滝弥助
副議長　斉藤昇
総務委員長　宮口政雄
同副委員長　多田梅松
同　委員　大原茂
久保田庄太郎
大野耕太郎
厚生委員長　吉田吉之助
同副委員長　斉藤祐一
同　委員　遠山謙
山内義雄
神本三也
青木収
玉塚義雄
文教委員長　鳴海一郎
同副委員長　香川博

足寄町国保病院
院長　浅井基興
副院長　加賀谷秀夫
産婦人科医長兼　谷寿夫
内科医長　小池良信
事務長　鷲岡憲雄

足寄町農業委員会
会長　湯浅義雄
会長代理　斉藤祐一
事務局長　川音正義

足寄町教育委員会
委員長　藤村与作
委員長代理　三宅隆義
委員・　新津幸助
同　大野剛
教育長　清水清作
同次長　岡靖

足寄建設業協会
会長　河向組　河向一夫
副会長　杉山組　杉山捨次郎
副会長　秋林組　秋林専三郎
事務局長　大川組　大川義夫
日新コンクリート工業　森本巌
平野組建設工業株式会社　平野雅浩
大川建設　大川清治
木村組　木村春三
新津組　新津春雄
大須賀組　大須賀金蔵
道東建設工業株式会社　石田富男
斎藤組　斎藤昇
石田組　石田専三郎